

パオちゃん's EYE

2023年1月1日 発行 No.70

オオムラサキ



オオムラサキ（井原市産）の飼育。

なにか干支の兔に関係する昆虫はいないかな～と考えて、これを思い出しました。国蝶として有名なオオムラサキの幼虫の脱皮殻の標本（写真3）、ウサギみたいでしょう。

これは、2015年12月6日に井原市で開催された自然観察会で、エノキの根元で見つけた幼虫（写真1）のものです。持ち帰って春まで自宅庭に樹脂容器に入れて埋めておき、エノキが芽吹いた頃に枝に網をかけて飼育しました（写真2：網をとって撮影）。写真3の脱皮殻はその網の中から回収した終齢幼虫のもので、角を備えた硬い頭部の後ろに縮んだ胴部の殻が付いています。サナギは室内に回収して羽化を見届けることに成功しました（写真4）。

エノキの根元で落ち葉を一枚ずつめくって幼虫を探すのは、冬の昆虫採集の楽しみです。

奥島雄一（昆虫担当）

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

